

わ か く さ ニ ュ ー ス

令和7年2月14日発行  
令和7年2月号 No. 65

横浜市金沢区泥亀 2-12-1  
TEL: 045-784-6900

社会福祉法人 <sup>恩賜</sup> 財団 済生会支部神奈川県済生会  
特別養護老人ホーム わかくさ  
<https://saiseikai-wakakusa.jp/>



## 特養わかくさ安全管理研修（わかくさ・東部病院コラボ企画）

1月14日～3日間、済生会横浜市東部病院医療安全管理室の職員3名を講師に迎え、わかくさ職員向けに「危険予知トレーニング」研修を開催し、総勢50名が参加しました。絵に隠された危険を予測し、事前に手立てを考えるトレーニングを実施し、参加者全員が意見を出し合うことで、一人では想像できなかった危険予測に気づき、周囲との関係性を構築すること、情報共有することの重要性を勉強しました。

講師の方より「安全とは危険がない状態、特殊である」との話を伺い、あらためて危険がない日常を送れることに感謝の思いをもつこと、また、介護現場や日頃の生活に於いても、“どこにでもある危険”を察知する洞察力を養う意識が大切と感じました。

今後も済生会グループの強みを活かし、いろいろな場面での医療・介護の連携を進めていきたいと考えます。

生活支援課 長澤さち子



## 職員紹介

皆様にご挨拶させていただきます

2025年1月に新着任した理学療法士の佐藤浩通と申します。これからわかくさのご利用者様方々のリハビリ（機能訓練）を担わせて頂きます。皆様のご状態に合わせて柔軟に対応させて頂きたいと考えております。個別リハビリや集団リハビリなど実施していきます。わかくさでのリハビリはなるべく苦痛なく安楽にお過ごし頂けるように対応させて頂く所存でおります。

私は今まで同じ済生会の病院でのリハビリ業務に従事してきました、同時に高齢の施設やケアプラザでのリハビリ業務も従事してきましたので、わかくさの皆様にご微力ながら貢献できると考えております。

今後はこの書面でリハビリの歴史やご自宅などで出来るリハビリ体操などご紹介できると考えております。どうぞよろしくお願い致します。

理学療法士 佐藤浩道



ホーム食 1月1日

お赤飯、すまし汁、おせち、小柱と枝豆のかき揚げ  
炊き合わせ（紅花咲包み蒸し、木の葉南瓜・露  
花人参）魚の幽庵焼き・柚子なます・鶏二色巻  
紅鮭の三色テリーヌ・寿たまご・上生菓子



## 随想



先月1月17日に阪神・淡路大震災から30年というニュースがありました。阪神・淡路大震災といえば1995年1月17日の5時46分頃に発生、兵庫県を中心に最大震度7の激しい揺れにより多くの建物が倒壊し、6434人が犠牲となった当時戦後最大の震災でした。この時は、丁度私自身がこの介護の仕事に就くことが決まり、期待と不安な気持ちで最後の学生生活を送っている最中だったと記憶しています。もう30年か…あつという間に過ぎたような気もしますが、私自身も家庭を持つなど色々な経験を積み重ね、中身の濃い30年だったと思います。この30年、世の中も目まぐるしく変化しています。30年前は携帯電話を持っている人は殆どいませんでした。阪神・淡路大震災以降も東日本大震災を始め度々起こる大地震、高温、ゲリラ豪雨や豪雪といった異常気象。これからの30年、世界はどう変わっていくのでしょうか？

介護課課長 櫻井 裕之

わかくさの理念「ともにあなたらしさの虹をえがく」  
基本方針  
・良質なサービスを提供します  
・向上心を持った職員が接します  
・笑顔が絶えない施設をつくります  
・地域との連携を図ります